



# くすのき



No.98

R3年12月発行

## ◆「居場所」は多い方がいい◆

「子供・若者育成支援推進大綱(令和3年4月)」において作成されることになった「子供・若者インデックスボード」が興味深いです。自分の部屋、家庭、学校、地域、職場、インターネット空間の6か所中、自分の居場所と感じる数と自己認識の関係をグラフでまとめたものです(右図)。

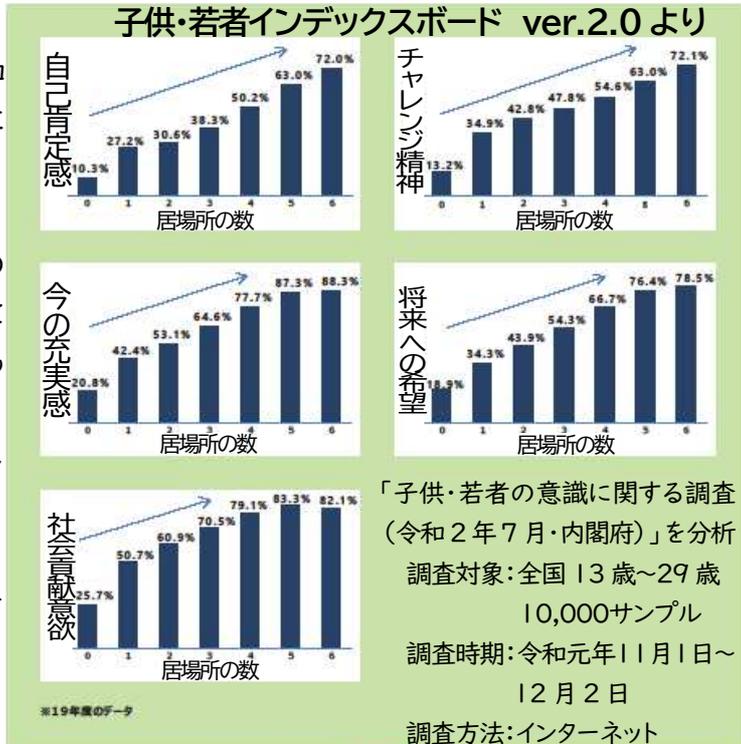
それによると、居場所の数が多ければ、自己肯定感、自己有用感などの自己認識が前向きとなりました。

これはまあ当然の結果ですよね。居心地がよく、ホッとできる場所というのはありのままの自分であり、誰からも怒られず、好きなことができること。居場所が多いということは、どんなときでも、ありのままの自分が愛され、一人の人間として認めてもらえるということで、これが自己肯定感を高めるのに一番重要なことだからです。

一方、居場所の数が少ないと、不登校、いじめ、ひきこもりなどの困難な状態が改善した経験が少なく、支援の希望や支援機関の認知度も低い傾向が表れました。

また、前回調査(3年前)に比べ、全ての場所を居場所と感じる割合が減っており、どこにも居場所がないと感じる子供・若者が増えています。この意識調査は令和元年11月、コロナ禍の直前に実施されたものです。今、この調査をしたら、居場所がないと感じる子供・若者はもっと増えているような気がします。

数年前から日本の若者は他国に比べて自己有用感が低い傾向が指摘されています。もしかしたら居場所の少なさと関係があるかもしれないと、このインデックスボードを見て感じたのでした。



居場所の数(自室、家庭、学校、地域、職場、インターネット空間)の多さと自己認識の前向きさは、概ね相関。

◆ 十一月二十日〜 月十日は青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(冬期)実施期間です ◆

## 1月の補導予定

- 大塚班 7日(金) 17:00 大塚公民館
- 三谷班 21日(金) 18:00 三谷公民館
- 蒲郡班 7日(金) 16:30 勤労福祉会館
- 中部班 14日(金) 18:00 中央小学校
- 塩津班 14日(金) 18:00 塩津公民館
- 形原班 13日(木) 18:00 形原中(蒲警講話)
- 西浦班 7日(金) 17:20 西浦駅

よろしくお願ひします



## ◆ 編集後記 ◆

11月に約70店舗の「青少年健全育成協力店」を巡回訪問し、各店舗の皆さんと青少年の行動等の情報交換をしてきました。小中学生や青少年の万引きや深夜徘徊や駐車場でたむろ等は激減していて良好です。それでも夏の時期には気になる行為もほんの少しあるようです。各店舗の皆さん方が小中学生や若者たちをよく見守っていただき、適切な声をかけていただいています。感謝しています。

